

±0

Humidifier S (Aroma)

XQK-T110

加湿器 S (アロマ)

取扱説明書

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる場所に必ず保存してください。

● もくじ

安全に正しくお使いいただくために・・・2～4

お願い
設置場所について5

各部のなまえ6

ご使用の前に7・8

使いかた9・10

アロマポットの使いかた.....11

お手入れのしかた12・13

クエン酸洗浄のしかた.....14

保管するときは15
仕 様


故障かな?と思ったら.....16・17


アフターサービスについて18
お客様ご相談窓口のご案内

安全に正しくお使いいただくために 必ずお守りください。










ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
表示と意味は、次のようになっています。

- この表示を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる内容を、2つに区分しています。




 **警告**：誤った取扱いをしたときに、人が死亡または重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。

 **注意**：誤った取扱いをしたときに、人が障害を負ったり物的損害等の重大な結果に結び付く可能性があるもの。

- 本文中の絵表示の意味です。

| | | | |
|---|---|---|---|
|  は、してはいけない「禁止」の内容です。 |  一般的な禁止 |  分解禁止 |  ぬれ手禁止 |
| |  水ぬれ禁止 |  接触禁止 | |
|  は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 |  必ずおこなう |  さし込みプラグを抜く | |

- 本体表示の意味です。

| | | |
|--|--|---|
|  はご使用上「注意」していただく内容です。 |  やけどに注意 |  感電に注意 |
|--|--|---|


警告

異常・故障時には、直ちに使用を中止する。


そのまま使用すると、発煙・発火・感電・けがに至るおそれがあります。

〈異常・故障例〉


- 電源プラグやコードがふくれるなどの変形や変色、損傷している。
- 電源プラグやコードが、いつもより熱い。
- コードを動かすと通電したり、しななかったりする。
- 本体がいつもと違って異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする。
- 本体やタンクから水漏れする。
- 商品に触れると、ビリビリと電気を感じる。

 ※すぐに電源プラグを抜いて、**±0** 生活家電修理技術センターへ連絡ください。
(☎18ページ)


交流100V以外では使用しないでください。

 火災・感電の原因になります。

定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。

 交流200V・船舶などの電源で使用したり、他の器具と併用すると、火災・感電の原因となります。

電源プラグ・マグネットプラグ・プラグ受けは清潔にする。

 ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

⚠ 警告

電源プラグ・マグネットプラグは、奥まで確実にさし込む。

さし込みが不完全ですと、火災・感電・ショートの原因となります。
傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。



修理・分解・改造はしない。

火災・感電・けがの原因となります。
修理は、 ± 0 生活家電修理・技術センターへ連絡ください。
(P18ページ)



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



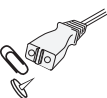
お手入れに下記の洗浄剤は使用しない。

塩素系・酸性タイプ・アルカリ性・ボット用洗浄剤(固形)
有毒ガスが発生し、健康を害したり、故障の原因になります。



マグネットプラグにピンやごみを付着させない。

感電・ショート・発火の原因となります。



蒸気口をふさがないでください。

変形や故障の原因になります。



じゅうたんなどの上や、傾斜した場所や高い場所など不安定な場所に置かないでください。



転倒すると誤動作や熱湯がこぼれたり、やけどの原因になります。

本体を水につけたり、本体に水をかけたり、水道の蛇口から直接本体に水を入れないでください。



開口部から水が入り込み、ショート・感電の原因になります。



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、濡れた手で抜き差ししないでください。



感電やけがをすることがあります。



使用中や使用後しばらくは、蒸気吹出口にさわったり顔などを近づけない。

やけどの原因になります。
特に乳幼児にはさわらせないよう、注意してください。



蒸気吹出口に顔や手を近づけない



使用中や使用後しばらくは、持ち運びや、お手入れをしない。



熱湯がこぼれたり、蒸気によるやけどの原因になります。

コードやプラグが傷んだときは使わない。

コードの一部や電源プラグが熱いとき、コードを動かすと通電したり、しななかったりするとき、コンセントのさし込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・発火の原因となります。



子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わないでください。

- 蒸気でやけどの恐れがあります。
- 転倒すると熱湯がこぼれやけどの原因になります。
- 感電の恐れがあります。



コードセットは必ず付属のものを使用してください。

また、付属のコードセットを他商品に使用しないでください。
故障・感電・ショート・発火の原因になります。



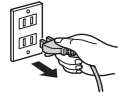
安全に正しくお使いいただくために 必ずお守りください。

⚠ 注 意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。



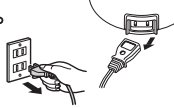
感電・ショートして発火する可能性があります。



使わない時は、電源プラグ・マグネットプラグを抜いて排水する。



絶縁劣化して火災・感電・水濡れの原因となります。



蒸気口フタ・水路カバー・クリーニングフィルター・タンクカバー・タンクをはずしたまま使用しない



蒸気が吹出口以外から漏れ出す場合があります。

何度もタンクを上下に動かさない。



水や熱湯があふれ、水漏れ・やけどの原因になります。



タンクをセットしたまま本体を持ち運ばない。



傾けると熱湯があふれ、やけどの原因になります。過給水により水があふれ、水漏れ・故障の原因になります。

アロマオイルは、付属のアロマポット以外には入れない。



本体に入ると熱湯があふれ、やけど・感電の原因になります。

持ち運ぶときは、本体の下を両手で持ち上げ、水平にして運んでください。



アロマオイルを入れる際は、アロマポットが十分に冷めたことを確認し、蒸気口からはずして入れてください。



アロマオイルがアロマポット以外に付着すると、故障や変形の原因になります。

排水するときは、必ず蒸気口フタ、水路カバー、クリーニングフィルターを取り排水位置から排水する。



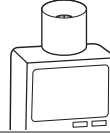
排水方向を誤ると、本体開口部より水が入りこんで火災・感電・故障の原因になります。



暖房機・テレビなどの電化製品や、熱に弱いテーブルの上やすぐ近くで使用しない。



転倒すると漏れた水によって、感電・ショートの原因になります。また、本体底面の熱によりテーブルの変形・変色の原因になります。



落としたりしたタンク・本体を使用しない。



そのまま使うと破損箇所から水漏れして、ショート・感電・発火の原因になります。



タンクにアロマオイルや40℃以上のお湯・不純物の多い水を入れて使用しない。



変形や故障の原因になります。また、熱湯があふれ、やけど・感電の原因になります。

アロマポットを幼児の手の届く所に置かない。



誤飲の原因になります。

タンクの水は毎日新しい水道水と入れかえてください。本体内部は常に清潔に保つよう、週1回以上、定期的にお手入れしてください。



汚れや水アカで性能が低下したり、悪臭がする恐れがあるので、こまめにお手入れしてください。

お願い

製品の破損・劣化・誤作動を防止するために必ずお守りください

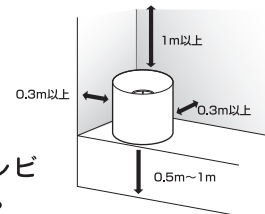
- タンクセット時や運転中に本体を傾けない。**
本体とタンクのすきまから熱湯や水が漏れることがあります。
- タンクやタンクカバー内側、本体の結露は、セットする前にふきとる。**
結露とは、タンク表面やタンクカバー内側などについた水蒸気が温度や湿度の変化などにより冷えて、水滴になる現象です。
結露がおこった場合は、ふいてください。また、床面に落ちた水滴もふいてください。
そのまま乾くとぬれた場所が変色する場合があります。
- 蒸気吹出口をふさがない。**
カーテンやタオルなどで蒸気吹出口をふさぐと、変形や故障の原因になります。
- 加湿しすぎない。**
室内の結露や、カビが生える原因となります。
- こまめにお手入れをする。**
加熱皿に水アカが付着したまま使用を続けると、加湿量の低下や、故障の原因になります。
- 凍結に注意する。**
凍結の恐れがあるときは、タンクと本体の水を捨ててください。
凍結したまま使用すると、故障の原因になります。
- 水道水（飲用）以外は使わない。**
化学薬品・芳香剤・香料・アロマオイル・汚れた水・海水・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・マイナスイオン水などを使用すると、本体内部に付着する水アカが多くなり故障の原因になります。
ミネラル浄水器の水などを使用すると、より水アカが多くなり、故障の原因になります。

設置場所について

- 必ず安定した水平な場所に置いてください。
- 図の様に周囲との距離を十分にとってください。

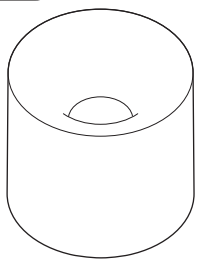
こんな場所に設置しない

- 直接日光のあたる場所、温風があたる場所、暖房機・テレビなどの家電製品や熱に弱いテーブルなどの上やすぐ近く。**
タンク内の空気が膨張し、お湯があふれることがあります。
転倒すると漏れた水によって、感電・ショートの原因になります。
また、本体底面の熱によりテーブルの変形・変色の原因になります。
- 蒸気が家具・壁・カーテン・天井などに直接あたる場所。**
家具・壁・カーテン・天井がいたんだり、しみや変形の原因になります。
- 床や畳の上。**
つまずいてけがや、やけどの原因になります。
また、本体底面の熱により床材や畳が変色することがあります。
- じゅうたん、ふとんなど柔らかいものの上。**
底面がふさがれると、内部温度が上昇して水があふれたり、保護装置がはたらくことがあります。
- 高所や不安定な場所。**
転倒すると熱湯がこぼれて、やけどの原因になります。

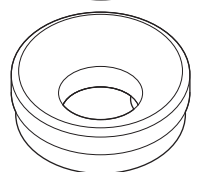


各部のなまえ

タンクカバー



タンク



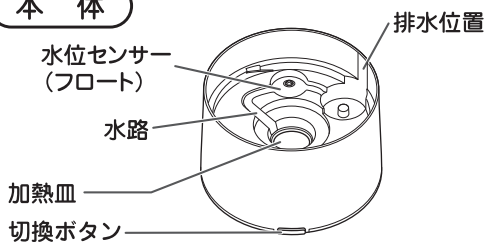
蒸気口フタ



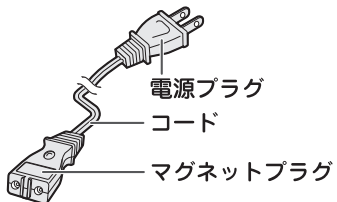
水路カバー



本体



コードセット



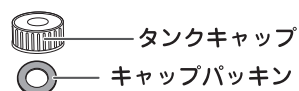
タンク内面

キャップ内面

タンクキャップ内面に
キャップパッキン
があることを確認
してください。



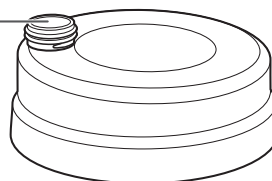
キャップパッキン



タンクキャップ

キャップパッキン

給水口



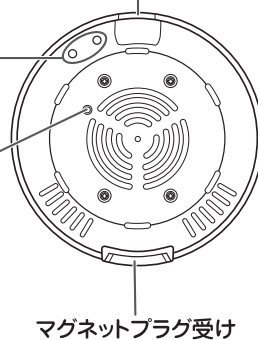
本体底面

交換ボタン

表示ランプ
(緑・緑)

リセットボタン
(☞17ページ)

マグネットプラグ受け



付属品

アロマポット (1個)

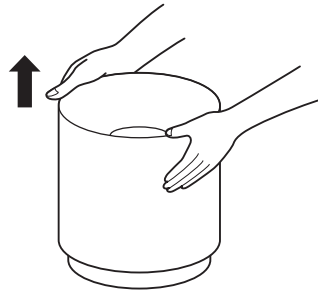
クリーニング
フィルター (2枚)



ご使用前に (タンクに水を入れる)

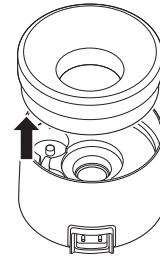
1 タンクカバーを取りはずす。

- タンクカバー内側に付着した水滴が落ちることがありますので、ゆっくり持ち上げてください。



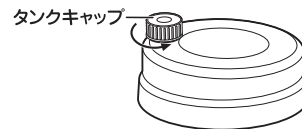
2 タンクを取りはずす。

- タンク内面のキャップに付着した水が落ちることがありますので、ゆっくり持ち上げてください。

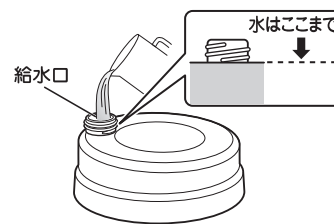


3 タンクに水を入れる。

- ① タンクキャップをはずします。
 - 矢印の方向へまわしてください。(反時計回り)



- ② 水道水をタンクの口元まで入れます。
 - 給水はタンクを水平に保ちながら、少しずつ入れてください。



- ③ タンクキャップをしっかり締めます。
 - 本体へセットする前に、タンクについた水分をよくふきとって水漏れがないことを確認してください。
 - タンクキャップ内面にキャップパッキンがあることを確認してください。

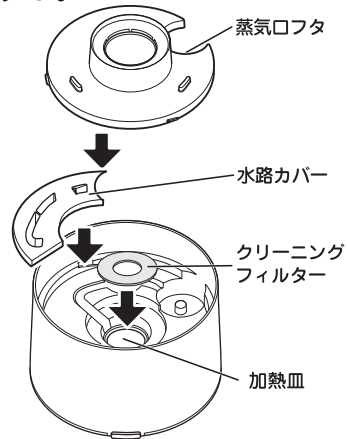
芳香剤やお湯(40℃以上)、不純物の多い水などを入れないでください。
本体には直接水を入れないでください。
必ずタンクに水を入れた状態で使用してください。

ご使用前に (本体にセットする)

4 本体に水路カバーと蒸気口フタをセットする。

*お買上げ時は、本体にセットしてあります。

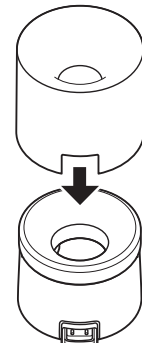
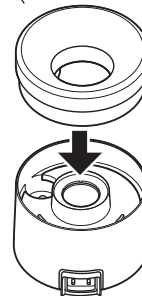
- ① 加熱皿にクリーニングフィルターを1枚入れます。
- ② 水路カバーをセットします。
- ③ 本体凹部(3ヶ所)と蒸気口フタの凸部(3ヶ所)を合わせてはめ込みます。
- ④ 蒸気口フタを時計方向に回し、セットします。
※本体の「▼」マークと蒸気口フタの「▲」マークが合うまで回してください。



5 タンクを本体にセットする。

- ① 本体を使用する場所(安定した水平な場所)に置きます。
- ② 水を入れたタンクを裏返します。
※キャップがしまっていることを確認してください。
- ③ 本体にタンクを水平にし、ゆっくりおろしてセットします。
※タンクをセットした後に移動させないでください。
水漏れ、故障の原因になります。

※タンクの着脱を繰り返したり、水の入ったタンクを本体にセットした後に移動させたりすると、タンクから本体に水が必要以上に流れて、水があふれることがあります。
このような場合は、本体内の水を全て排水し、タンクを再セットしてください。(P.16ページ参照)
※排水のしかたは、10ページ参照。



6 タンクカバーをセットする。

- ① タンクカバー側面の切り欠き(凹部)の位置を確認します。
- ② タンクカバー側面の切り欠き(凹部)を本体のマグネットプラグ受けの位置に合わせ、ゆっくりおろしてセットします。

使いかた

使い初めは煙やにおいが出ることがありますが、ヒーター特有のもので、故障ではありません。ご使用により出なくなります。

1 コードセットを接続する。

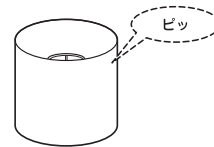
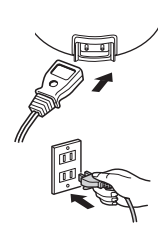
- ① マグネットプラグを本体に接続します。

※本体を傾けてマグネットプラグを接続しないでください。本体に水が必要以上に流れて水量が増え、熱湯があふれ出る原因になります。

- ② 電源プラグをコンセントに確実にさし込みます。

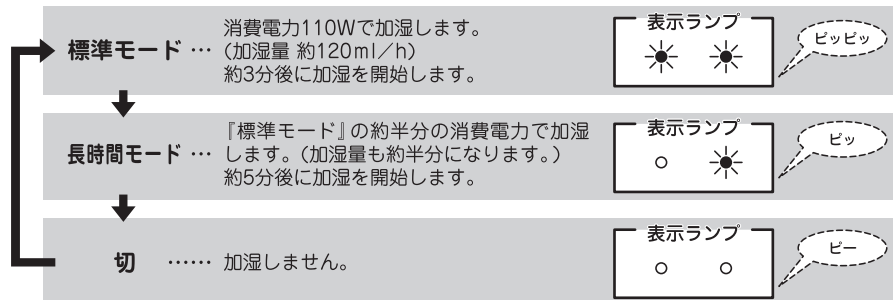
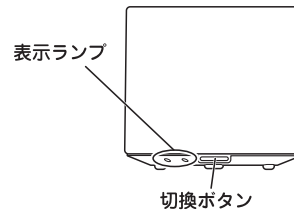
- 電源が入ったことをお知らせする操作音が、“ピッ”と鳴ります。

※必ず本体にマグネットプラグを接続してから、電源プラグをさし込んでください。



2 切換ボタンでお好みの運転にセットする。

- 押すたびに『標準モード』→『長時間モード』→『切』の順で切り換わります。
- 切換ボタンを押すと操作音があり、表示ランプが点灯・消灯します。



※加湿開始までの時間は、室温や水温により変わります。

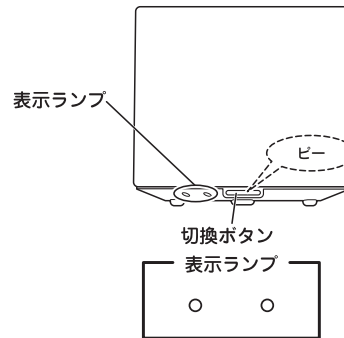
* タンクの水がなくなると

加湿運転中、左右の表示ランプが同時に点滅し、お知らせ音があります。タンクに水を入れ、セットしてください。



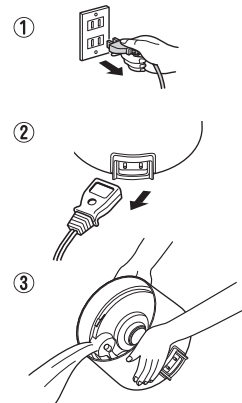
3 切換ボタンを押して「切」にする。

- 『標準モード』でご使用の場合は2回、『長時間モード』でご使用の場合は1回押すと、操作音が“ピー”となり「切」の状態になります。
※表示ランプは、左右共に消灯します。



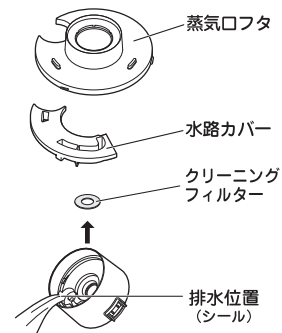
■ 使用しないときは

- ① 電源プラグをコンセントから抜きます。
- ② マグネットプラグを本体からはずします。
- ③ タンクカバーとタンクをはずし、本体から蒸気口フタと水路カバー、クリーニングフィルターを取り、本体およびタンクに残った水を排水します。
※本体側面に貼られているシール「排水位置」に本体を傾けて排水してください。
※タンクの水の排水方法は、15ページの「保管するときは」の1をご覧ください。



⚠ 本体の水の捨てかた

- タンクカバーとタンクをはずし、本体から蒸気口フタと水路カバー、クリーニングフィルターを取り、本体側面に貼られているシール「排水位置」の方向に本体を傾けて、排水します。
※蒸気口フタと水路カバーをはずさず排水すると、水が完全に排水できない場合があります。
※排水するときは、電源プラグを抜いてしばらく放置し、本体内のお湯が十分冷めてからおこなってください。
※使用しないときは必ず水を捨ててください。
※お手入れは、必ず1週間に1回以上おこなってください。
(☞ 12,13ページ お手入れのしかた参照)



アロマポットの使いかた

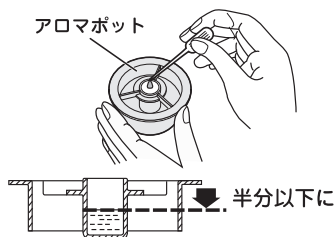
*アロマオイルは別売品または市販品をお買い求めください。

1 アロマオイルをアロマポットに入れる。

*スポイト等を使用してください。

- アロマオイルを入れるときは、必ずアロマポットをタンクカバーからはずしておこなってください。
※アロマオイルが加熱皿に入ると、熱湯があふれる原因になります。

- アロマオイルはポットの半分以下でご使用ください。
※アロマポットに水滴が入るなどして、ポット内のアロマオイルの水位が半分以上になった場合には、すみやかにオイルを捨て、オイル水位が半分以下の状態を保ってご使用ください。



別売品：エッセンシャルオイル

エッセンシャルオイルとは、化学的に合成された香料ではなく植物から抽出された揮発性のアロマオイルのことです。

お買い上げの販売店または±0受注センターにてお買い求めください。

形名：ZWE-R010(リラク্সブレンド)

形名：ZWE-R020(リフレッシュブレンド)

メーカー希望小売価格：1,050円(税込)

(希望小売価格は2009年11月現在のものです。)

2 必ず電源を切り、本体がさめているのを確認してからアロマポットをタンクカバー中央にセットする。

- アロマポットをセットする場合は、アロマオイルがこぼれないようにご注意ください。

※アロマポットのセット、取りはずしは使用中や使用後しばらくはしないでください。

やけどの原因になります。

※アロマオイルはアロマポット以外には入れないでください。

熱湯があふれる原因になります。

※使用中にアロマオイルの追加をしないでください。

やけどの原因になります。

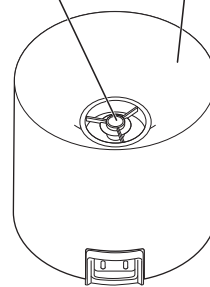
※アロマオイルが加熱皿や蒸気口フタに落ちたときは、使用を中止し水を捨て、よくふきとってから使用してください。

※アロマオイルの原液がタンクカバーについたときは、ただちに十分にふきとってください。

タンクカバー樹脂の変質・変色・破損の原因になります。

※アロマオイルは手に触れないように気をつけてください。
アロマオイル(エッセンシャルオイル、精油)をご使用の際は、必ず使用されるアロマオイルの取扱説明書をよくお読みの上ご使用ください。

アロマポット タンクカバー



別売品：加湿器アロマポット

お買い上げの販売店または±0受注センターにてお買い求めください。

形名：XQP-R010(2個入り) ※カラーは無色半透明です。

メーカー希望小売価格：1,050円(税込)

(希望小売価格は2009年11月現在のものです。)

お手入れのしかた-1 1週間に1回以上おこなってください

*お手入れは定期的におこなってください

この加湿器は水を沸騰させて発生する蒸気によって加湿を行います。

- 水道水に含まれるミネラル分が加熱されて薬品のようなにおいが発生する場合があります。水道水のミネラル分が多い地域でご使用の場合は少ない使用回数でもにおいが発生する場合があります。
 - 水道水に含まれるミネラル分が蒸発して水アカとなって加熱皿に付着します。付着した水アカを放置すると水アカが取れにくくなります。そのまま使用すると加湿量が低下して故障の原因になります。
- ※ベンジンやシンナー、アルコール、アルカリ洗剤などは絶対に使用しないでください。本体や部品を傷めます。

警告



お手入れは電源プラグ・マグネットプラグを抜いて十分冷めてからおこなう

感電ややけどの原因となります。



お手入れに下記の洗剤は使用しない

塩素系・酸性タイプ・アルカリ性・ポット用洗剤(固形)
有毒ガスが発生し、健康を害したり、故障の原因になります。



本体を水につけたり、かけたりしない

開口部から水が入り込み、ショート・感電の原因になります。

●お手入れ後は十分乾燥させ、各部品は正しくセットしてから使用する。

感電・水漏れの原因になります。

◆ 水を捨てる

- タンクカバーとタンクをはずし、本体から蒸気口フタと水路カバー、クリーニングフィルターを取り、本体側面に貼られているシール「排水位置」に本体を傾けて、排水します。
(P 10ページ 本体の水の捨てかた参照)

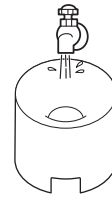
◆ 本体

- 柔らかい布でふきます。
- ※汚れがひどいときは、うすめた台所用中性洗剤(食器用)をしみ込ませた柔らかい布でふいてから、乾いた布でふきとってください。



◆ タンクカバー・蒸気口フタ・水路カバー

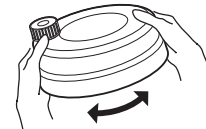
- 水で流し洗いをします。
- ※アロマオイルの原液がタンクカバーについたときは、ただちに十分にふきとってください。
- タンクカバー樹脂の変質・変色・破損の原因になります。



- シンナー・ベンジン・クレンザー・たわし・漂白剤・研磨剤の入ったものを使わないでください。

◆ タンク

- タンクに少量の水を入れ、キャップを締めてよく振って洗った後、排水します。
(タンクを落とさないようにご注意ください。)
- ※汚れがひどいときは、2~3回くり返してください。



お手入れのしかた-2

◆クリーニングフィルター

- 水を流しながら柔らかくなるまでもみ洗いをします。

※水アカがたまるとクリーニングフィルターが固まり、加湿量の低下や故障の原因になります。



クリーニングフィルターは消耗品ですので、水アカがこびりついたり、破れた場合は交換品を販売店または±0受注センターにてお買い求めください。

形名：XQF-T110(5枚入り)

メーカー希望小売価格：525円(税込)

(希望小売価格は2009年11月現在のものです)

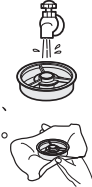
※捨てる時は、不燃ゴミとして捨ててください。

◆アロマポット

- うすめた台所用中性洗剤(食器用)で洗い、水で流します。

- 水をよくふきとってください。

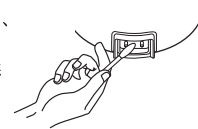
※アロマオイルが手についた場合は、せっけんでよく洗ってください。



◆マグネットプラグ受け・マグネットプラグ

- 電源プラグとマグネットプラグを抜きます。

- マグネットプラグ受け、マグネットプラグについたほこりを綿棒等でふきとります。



◆加熱皿

- 本体から蒸気口フタ・水路カバー・クリーニングフィルターを取り、本体側面に貼られているシール「排水位置」の方向に本体を傾けて、排水します。

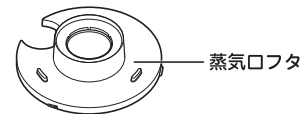
※排水するときは、電源プラグを抜いてしばらく放置し、本体内部のお湯が十分冷めてからおこなってください。

- 水アカやごみを取り除き、柔らかい布で水ぶきをしてください。

※水アカやごみが加熱皿や水路に付着すると、保護装置(温度過昇防止サーモスタット)が働き正常に動作しなくなる場合があります。

※お手入れをしない期間が長くなると、加熱皿のフッ素被膜がはがれたり、水アカが落ちにくくなりますので、週に1~2回はお手入れしてください。

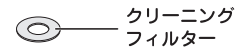
※水アカが落ちにくいときは、クエン酸洗浄をおこなってください。(P14ページ)



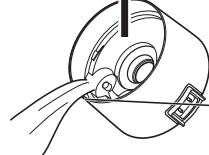
蒸気口フタ



水路カバー



クリーニングフィルター



排水位置
(シール)

※加熱皿を金属タワシ等でこすらないでください。傷がつき故障の原因になります。

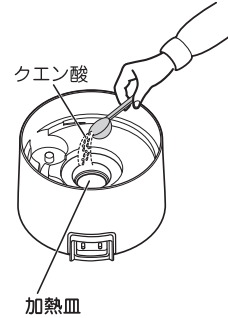
*** 本体内部に水が入ってしまった場合は ***

ただちにご使用を中止し、±0生活家電修理・技術センターへご相談ください。
(P18ページ)

クエン酸洗浄のしかた

加熱皿の水アカが落ちにくいときは以下の手順でクエン酸洗浄をおこなってください。

- ① タンクカバー・タンク・蒸気口フタ・水路カバー・クリーニングフィルターを取りはずし、排水位置から残った水を排水します。
(10ページ 本体の水の捨てかた参照)
- ② 加熱皿にクエン酸約2.5g(計量スプーン小で約半分)を入れ、水路カバー・蒸気口フタ・水を入れたタンク・タンクカバーをセットします。
※ クエン酸洗浄のとき、クリーニングフィルターは入れないでください。
※ クエン酸が多いと、故障の原因になります。
※ クエン酸は、必ず市販の顆粒タイプを使用してください。
※ 固形タイプ(ポット用洗浄剤など)を使用すると必要以上に気泡が発生し、蒸気吹出口から沸騰水がでることがあります。
※ お買い求めのクエン酸の注意書をよく読み、正しくお使いください。
- ③ コードセットを接続し、切換ボタンを1回押して加湿「標準モード」で約2時間加湿します。
- ④ 切換ボタンを2回押して「切」にし、1時間以上冷ましてからタンクカバー・タンク・蒸気口フタ・水路カバーをはずし、排水位置から水を捨て柔らかい布で残った水アカをふきとります。
- ⑤ 再度水路カバー・蒸気口フタ・タンクをセットし、加熱皿に水がたまってからタンク・蒸気口フタ・水路カバーを取りはずし排水します。
このすすぎ洗いを2~3回繰り返します。
- ⑥ タンクの水を入れ替えます。
※ タンク内にもクエン酸成分が残ることがありますので、臭いの原因になります。



- クエン酸の臭いが発生するため、換気しながらおこなってください。
- クエン酸は、食品添加物で食品衛生上無害ですが、幼児の手の届かないところに保管してください。

お知らせ

水アカは、水道水に含まれているミネラル分(カルシウム、マグネシウム等)が析出したものです。水アカがたまるとクリーニングフィルターが固まり、加湿量の低下や故障の原因になります。

保管するときは

*加湿器のご使用を終了し、保管するときは、必ずお手入れをおこなってください。
※水アカや水分が残ったまま加湿器を保管すると、再度お使いになる際に正常動作しない場合があります。

1 お手入れの後、水をふきとり十分に乾かす。

タンク内の排水は、シンクや洗面台などでおこなってください。

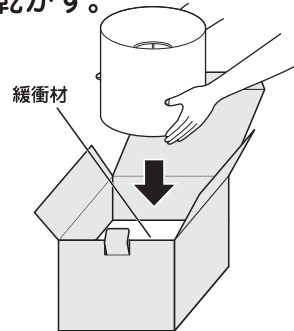
- ①タンクキャップを上にして、キャップを開けます。
- ②そのままタンクをゆっくり逆さまにし、水を抜きます。
- ③ある程度水を抜ききったら給水口を下に傾けて、左右に振りながら完全に排水します。
- ④最後に給水口から柔らかい布などを入れ、残った水滴を吸い取ります。
※布などがタンク内に落ちてしまわないようご注意ください。

2 お手入れ、水抜きが終わったら、タンクカバー、タンク、タンクキャップ、蒸気口フタ、水路カバー、本体、アロマポット、クリーニングフィルターの水をよくきり十分乾かす。

風通しが良く日の当たらない場所に、24時間以上置いて自然乾燥させてください。

本体はタオルなどを敷いた上に「逆さま」にした状態で乾燥させてください。

※12、13ページの「お手入れのしかた」をご覧ください。



3 お買上げ時の包装箱に入れて保管する。

※コードはポリ袋に入れてください。

※高温になるところを避け、湿気の少ないところに保管してください。

仕様

| | |
|---------------|--|
| 電源 | AC 100V 50-60Hz |
| 消費電力 | 110W(標準モード時)、60W(長時間モード時) |
| 加湿時間 | 約4時間(標準モード時)、約8時間(長時間モード時) |
| 加湿量 | 約120 ml/h(標準モード時)、約60 ml/h(長時間モード時) |
| 適用畳数 (めやす) | 木造/和室 3.3㎡ (2畳) プレハブ/洋室 5.5㎡ (3畳) ※標準モード時 |
| タンク容量 | 約0.5L |
| 外形寸法 | 約H155.5×W165×D165 (mm) |
| 質量 | 約1.1 Kg (タンク空時) |
| コード | 約1.4m |
| 付属品 | クリーニングフィルター(2枚)、アロマポット |

故障かな？と思ったら

◆ 修理を依頼される前に、もう一度お調べください ◆

| 症状 | 原因 | 処置 |
|------------|---|---|
| 蒸気が出ない | タンクの水がなくなっている。 | タンクに水を入れてください。それでも蒸気が出ない（加熱血の水が沸騰しない）ときは、 ±0生活家電修理・技術センター （ C/F18ページ ）にご相談ください。 |
| 蒸気におう | 加熱血やクリーニングフィルターが汚れている。 | お手入れのしかたの通りに、汚れを取り除きます。（ C/F12,13ページ ） |
| | 古い水を使っている。 | 本体内とタンクの水を全て排水し、水を入れ直します。 |
| 本体から水があふれる | タンクキャップから水漏れしている。 | キャップパッキンがはずれていないが、確認しタンクキャップをきちんと締めてください。それでも水漏れするときは、 ±0生活家電修理・技術センター （ C/F18ページ ）にご相談ください。 |
| | タンクに水が入った本体を移動させたり、タンクを何度も上下させた。本体を傾けたまま運転した。または、本体に直接給水した。 | 本体内の水を全て排水し、タンクを再セットしてください。再セット後は、タンクを上下させたり本体を移動させないでください。 |
| | 芳香剤や40℃以上のお湯・不純物の多い水を入れた。 | 本体内とタンクの水を全て排水し、水を入れ直します。 |




◆ 次のような場合は故障ではありません ◆

| 症状 | 原因 |
|--------------------------|--|
| タンクをセットしたときや使用中にポコポコと音がる | タンクから本体に水が流れるためです。 |
| なかなか蒸気が出ない | 切換ボタンを押してから、加湿が始まるまでに時間がかかります。（ C/F9ページ ） 室内の温度や湿度によっては、蒸気が見えにくい場合があります。 |
| 運転中に音がる | 沸騰音で故障ではありません。 |
| 水滴がつく 下に水がたれる | タンクカバーやタンクなどについた水蒸気が温度や湿度の変化などにより結露し、水滴が落ちる場合があります。タンクカバーやタンク、本体についた水滴はセットする前にふいてください。床面に落ちた水がそのまま乾くと、ぬれた場所が変色する場合があります。 |
| 加湿運転中に左右の表示ランプが点滅する | タンクの水がなくなったためです。タンクに水を入れて、セットしてください。 |

故障かな?と思ったら(異常表示について)

異常表示について

■ 誤った使いかたをすると運転を停止し、状況に応じて表示ランプが次のように点滅します。
また、お知らせ音(ピー×5回)が鳴ります。

| | | | |
|---------------|--|---|---|
| 異常表示 ランプ |  右側 2回の点滅 |  右側 3回の点滅 |  左右交互点滅 |
| 原因 | 保護装置(温度過昇防止サーモスタット)がはたらいています。 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 温度センサーの故障です。 ● ヒーターの故障です。 |
| 点検 | <ul style="list-style-type: none"> ● 加熱皿や水路に水アカやごみが付着していませんか。 ● 蒸気吹出口がふさがれていませんか。 ● 底面がふさがれていませんか。 ● 机の下など、狭い囲まれた場所で使用していませんか。 ● 近くに他の暖房器具などありませんか。 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 使用しないで ±0 生活家電修理・技術センターにご相談ください。(P18ページ) |
| 処置 | <ol style="list-style-type: none"> ① 電源プラグを抜いて、本体をよくさましてください。 ② 点検をして、保護装置(温度過昇防止サーモスタット)がはたらいた原因を取り除いてください。 ③ 本体底面のリセットボタンをつまようじ等でカチッと音がするまで押してください。 | | |
| 処置しても 同じ場合 | <ul style="list-style-type: none"> ● 使用しないで ±0 生活家電修理・技術センターにご相談ください。(P18ページ) | | |

アフターサービスについて

保証書

- 保証書は必ず「お買上げ日・取扱販売店名」等所定事項の記入及び記載内容をお確かめのうえ、お買上げ販売店からお受けとりいただき、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買上げ日から1年間です。ただし、蒸気ロフタ・水路カバー・クリーニングフィルター・タンクキャップ・パッキン類・アロマポットなどは消耗品ですので、有料となります。

補用性能部品の保有期間

当社は、この加湿器の補用性能部品を製造打切後、5年保有しています。性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

※製品に異常のある場合に、お客様ご自身で修理されたり手を加えたりすることは大変危険です。絶対にしないでください。

修理を依頼されるときは

- 保証期間中の修理
保証書の記載内容により、±0生活家電修理・技術センターが修理いたします。くわしくは、保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎたあとの修理
修理により使用できる場合には、お客様のご要望により有料修理いたします。くわしくは、下記の±0生活家電修理・技術センターにご相談ください。

アフターサービスのお問い合わせ

修理に関するご相談ならびにご不明な点などは、下記の±0生活家電修理・技術センターにお問い合わせください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、下記へご連絡ください。

本製品の使いかた、故障や部品のご購入に関するご相談は…

±0生活家電修理・技術センター [へ](#)

■ 受付時間：月～金曜日（除く祭日）10～17時



0570-01-5380

呼び出し音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。
(注) なお、上記番号はPHSでは、ご利用いただけません。
おそれいりますが、一般の電話が携帯電話をご利用ください。

■ 〒399-8102 長野県安曇野市三郷温3868 FAX 0570-07-5380

■ メールでのお問い合わせ <http://www.plusminuszero.jp/support/>

±0製品に関するお問い合わせは…

±0コミュニケーションセンター [へ](#)

■ 受付時間：月～金曜日（除く祭日）10～17時



0570-01-5300

呼び出し音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。
(注) なお、上記番号はPHSでは、ご利用いただけません。
おそれいりますが、一般の電話が携帯電話をご利用ください。

別売品のご購入に関するご相談は…

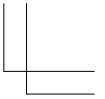
±0受注センター [へ](#)

■ 受付時間：月～土曜日（除く祭日）9～17時



0120-17-5380

携帯・PHSから 03-3590-9409



発売元 プラマイゼロ株式会社

〒107-0062 東京都港区南青山5-10-13
デコパージュ南青山ビル2F
<http://www.plusminuszero.jp>

©PLUS MINUS ZERO CO.,LTD.2009

RX0909A 発行年月 09年11月

